超音波の技術を活用

医療機関を中心に全国へ

高機能水使った除菌消臭用噴霧器を開発

星光技研

＝柳原

1973（昭和48）年創業の「星光技研」は液体を超音波で霧状にする既存技術を生かし、高機能水を使った除菌消臭用の噴霧器を2006（平成18）年に開発。幅広い需要に応える製品を取りそろえ、医療機関などを中心に全国へ売り込み、主力事業に成長している。

もともとはキノコ栽培用の制御盤などを製作する産業機械メーカーだった。一時は長野市内のキノコ工場の下請け業務が売り上げの7割以上を占め、コストダウンと納期を短くする要請に応えるのに苦労をしていたという。

大きな取引先の倒産などを経て、8年前に下請け依存からの脱却を決意。「除菌消臭剤を噴霧したい」という異業種からの問い合わせをきっかけに、超音波技術を加湿だけでなく、液体噴霧に活用することを思い付いた。噴霧する高機能水は、金属の腐食やゴム部品の劣化を招く課題があったことから、部品単位で設計を見直すなど試行錯誤を重ね、商品化に成功した。

現在は、大都市圏を中心に、ペットを飼っている家庭などにも支持され、同社の売り上げの半分を占めるまでになったという。

家庭用の約23平方㍍対応から業務用の約250平方㍍対応のものまで販売。ワイヤレスリモコンを装備したり、エコ運転モードで液体を節約し消費電力を抑えたのも特徴で、これまでに約3万台を販売した。

今後は地元に代理店を設置するなど知名度を向上させることが課題。噴霧器を利用し減農薬などにつなげる農畜産関係への応用や、アジアを中心に海外の販路拡大を目指す。

坂本真悟・超音波事業部長（36）は「今は第2の創業期。スピード感あふれる仕事で、夢のある商品を開発、販売していきたい」と話している。

高機能水の噴霧器をアピールする坂本部長

研究開発を行っている本社工場

【星光技研】▽住所 柳原1573▽☎ 243・4055▽従業員 10人